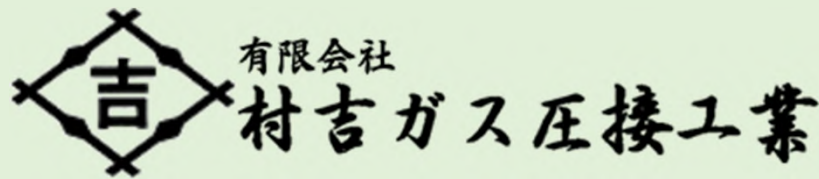


自社技術の普及を通じて全国の圧接工事現場に貢献！

会社名 有限会社村吉ガス圧接工業
 所在地 沖縄県中頭郡西原町字池田 789-1
 従業員 38名
 資本金 500万円
 売上高 2億5,000万円
 業 種 建設



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 鉄筋の圧接工事を専門に手掛ける建設会社で地元を中心に多くの施工を請け負ってきたが、近年、現場の課題を解決するための鉄筋継手工法を独自に開発した。
- 当該技術を普及させつつ、当該技術を活用した自社のビジネスモデルを描く方策を具体的に検討できていなかった。

支援を受けてできるようになったこと

After

- 具体的なビジネスモデルを描くことができ、開発技術普及のために必要となる性能評価のための大学との共同研究が実現した。
- ビジネスモデル実現に必要なパートナー候補の明確化と、技術普及のための工法協会設立に向けたアクションプランを明確化した。

今後の事業展開の展望

Future

- 日本鉄筋継手協会よりA級継手の認定を取得した後、工法協会を設立し、西日本を中心に同工法を広めていく予定。
- 工法協会設立後、工法普及のための課金モデルと研修等を通じた同社にとっての収益も期待される。

加速的支援を受けた事業や商材



鉄筋の圧接工事を行う際、アセチレンガスをを用いるのが一般的であるが、同ガスの供給不安や価格差の影響を受ける（価格が近年高騰している他、輸送や貯蔵管理も難しい。）特に自社が営業する島しょ部ではアセチレンガスの確保が容易でなく、代替工法の開発が喫緊の課題となっている。

自社は、プロパンガスに適した圧接技術、器具を開発し、実用化に成功している。

プロパンガスを用いた圧接工法が認定されれば島しょ部だけでなく、プロパンガスが流通する全国各地でメリットがあることから、同工法を普及させたいと考えている。



加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業戦略策定	<ul style="list-style-type: none">新工法収益ビジネスモデルの検討が必要である。
認定取得活動、普及戦略	<ul style="list-style-type: none">新工法につき市場を創造する必要がある、認証の取得、工法協会の設立、パートナーの確保等の選択肢について検討が必要である。
事業拡大に向けた体制構築	<ul style="list-style-type: none">普及を見据えた社外ネットワークの構築と、それに対応する社内体制の整備が必要である。
知財戦略	<ul style="list-style-type: none">新工法につき、市場創造を図りつつ、自社のビジネスモデルを確保するためのオープン＆クローズ戦略の検討が必要である。
アクションプランの策定	<ul style="list-style-type: none">新工法の普及を念頭においたビジネスモデルの実現には比較的長い時間を要することから、具体的なアクションプランを作成しておく必要がある。

加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
事業戦略策定	<ul style="list-style-type: none">工法協会設立後のビジネスモデルの具体化と実現方法の検討	中小企業診断士 建築専門家
認定取得活動、普及戦略	<ul style="list-style-type: none">工法協会の設立までの筋道を明確化地元大学との共同研究を通じた認定に必要な実証	建築専門家 建築系弁護士
事業拡大に向けた体制構築	<ul style="list-style-type: none">大学との共同研究を行う体制の整備工法協会設立と技術普及に向けた体制の検討(具体的なパートナー候補企業の明確化)	中小企業診断士 建築専門家
知財戦略	<ul style="list-style-type: none">自社特許の検証(クリアランス調査、FTO調査の実施)や追加出願による自社技術ライセンスを念頭においた権利の確保将来的に技術を普及させようとする国に対する外国出願(台湾、アメリカ、インドネシア)の実施	弁理士
アクションプランの策定	<ul style="list-style-type: none">ビジネスモデルの実現に向けた具体的なアクションプランを策定	中小企業診断士 建築専門家

支援チーム紹介

主担当専門家: 建築専門家 金田和浩

活用専門家: 中小企業診断士、弁理士、弁護士、建築専門家

知財総合支援窓口担当者: 沖縄県知財総合支援窓口 原田 昭明

PO(プログラムオフィサー): 中 泰広